

図書紹介

歯科領域の院内感染予防対策～歯科医療従事者への Suggestion 21～

著者：田口正博

発行：クインテッセンス出版株式会社／〒113-0033 東京都文京区本郷

3丁目2番6号 クイントハウスビル／☎03-5842-2270（代表）

A4版／159頁／価格8,500円（税別）／2017年5月10日発行

著者は40余年の臨床経験から導き出された院内感染予防対策のソフトとハードを結実させており、院内感染予防対策に特化した歯科医院を完成させた立場から本書を著している。本書は7つのChapterから構成され、各Chapterはより理解を深めるために文章よりも写真を多用して解説されており、またレベルアップのための目標を提示している。各Chapterの最後に要点がまとめて図示されている。

本書は歯科領域における具体的な院内感染予防対策を取り上げており、歯科領域にとどまらず全般的に医療従事者の院内感染予防対策を支援する分野に携わる会員諸氏には有益な情報を提供する内容になっている。

Chapter 1、「これから歯科医院を開設する君たちへ」では、安心・安全に基づいたこれからの歯科医院のつくり方について解説している。感染予防に特化した歯科診療室の建設と設備や患者の来院から問診までの対策について具体例を交えて述べている。

Chapter 2、「問診および血液検査対策と患者・スタッフの診察時の服装」では、初診問診時の注意点とスタッフの服装について取り上げ、患者の協力を得るための診療姿勢を述べている。

Chapter 3、「手指衛生・グローブ対策および口腔内・口腔外の消毒とドレープ、タオル類の扱い」では、手指衛生・グローブ対策を解説し、さらに口腔内・外の消毒について具体例を挙げて説明している。また、ドレープとタオルの衛生管理が極めて重要であることも強調している。

Chapter 4、「検査器具への対策と診療器具の洗浄・滅菌」では、診察・診療で使用する器具の洗浄と滅菌を取り上げている。この個所は水平感染の観点から極めて重要であり、日常的に重点的な実施が必須の作業であるが、個人開業

院はスタッフが少人数のために十分な対応が疎かになり、事故の発生が危惧されるポイントと言える。この分野は会員諸氏の専門範囲であり、種々の面で支援が可能な分野であろう。

Chapter 5, 「樹脂製器具, 印象物, 石膏模型, 補綴物の消毒・滅菌」では, これらの作業過程で要求されるガス滅菌や薬液消毒, 化学的滅菌などを取り上げて詳しく説明している。

Chapter 6, 「切削器具類への洗浄・滅菌・乾燥とエックス線撮影機器の汚染予防対策および診療後のユニットの片付けと清拭・ラッピング」では, 切削器具とエックス線撮影装置の感染予防対策とユニットの片付けなどについて注意事項を解説している。著者は, 「医療行為である歯科治療において, 切削器具をはじめ口腔内で使用する器具類の滅菌を疎かにすることは医療人として信頼を失墜させる行為であり許されるものではない」と強調している。

Chapter 7, 「歯科医院の医療安全管理」では, 安全・安心に基づいたスタッフ・患者・社会への責任の観点から, 歯科医院の給水系・排気系への対策や待合室・受付の清拭, 暴露事故対策を取り上げている。また感染性廃棄物や産業廃棄物対策, 在宅診療における感染予防対策, 医療安全管理指针对策など幅広く感染予防の観点から必要事項を解説している。

その他, 院内感染予防対策などに役立つ主な製品を一覧表に取りまとめている。

子供の頃に虫歯の痛みになんてか耐えかねて母親が「今治水」を塗ってくれたり頬を氷で冷やしてくれたことや, 歯医者で虫歯を削る機械音に怖い思いをした記憶があり, 二度と歯医者には行きたくない, 歯をしっかりと磨こうと誓ったものである。最近定期的に検歯科医院を訪れて検査を受けているが, 室内や施療設備などの清潔さを見て十分な感染対策がなされていることを再認識している。医療現場の感染対策を支援する分野の業務に携わる諸氏には一読をお勧めしたい。

(摂南大学名誉教授 渡部一仁)